



大平山元遺跡

外ヶ浜町 約15,000年前
史跡指定／2013年



上空からの眺め(○印は遺跡のある場所)



石鏃



日本最古級の土器片

日本最古の土器片が出土

旧石器時代の特徴を持つ石器群と共に、日本最古の土器片と矢じりが出土しています。

土器に付着していた煮炊きの痕(炭化物)を調べたところ、約16,500年前のものである可能性が指摘されています。土器片は縄目の文様などの装飾がない無文のもので、最古の土器の特徴といえます。



大平山元遺跡での矢じりの発見により、弓矢の出現は、土器の出現とほぼ同時期にまで遡ることがわかりました。

Q&A

Q 日本最古の土器はどんな形をしていたの？

A 出土した土器片の数が少ないため正確な形はわかりませんが、小型で底の平らな土器だったと考えられています。

Q どんな住居に住んでいたの？

A 生活したと思われる空間に柱穴やくぼみがないことから、たて穴住居とは違い、地面を掘らない構造のものと考えられます。



遺跡発掘の様子

関連展示施設

大山ふるさと資料館



旧大山小学校の校舎を活用した資料館。大平山元遺跡の出土品を展示した遺物展示室のほか、外ヶ浜町の民俗資料を紹介する3つの展示室があります。

ここに注目！

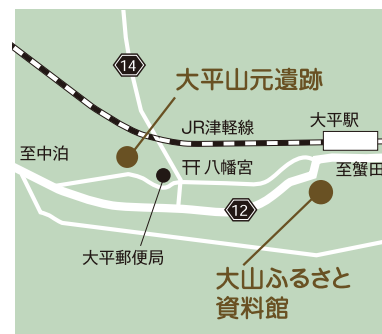
日本最古級の無文土器の土器片を見ることができます。土器片には煮炊きの痕のすすやおこげも黒く残っています。

開館日時 9時～16時 月曜日(祝日の場合その翌日)・年末年始休館

入館料 無料

住所 外ヶ浜町蟹田大平沢辺34-3

電話 0174-22-2577



【遺跡に関するお問い合わせ】
外ヶ浜町教育委員会社会教育課
TEL 0174-31-1233